

NPO 法人がんと共に生きる会 公開講座 in 島根

プログラム

2012 年 10 月 21 日（日）14：00～16：00

於：ビッグハート出雲 2F 茶のスタジオ

◆第 1 部 講演会（14 時～14 時 45 分） ※進行の都合上、時間が前後することがあります。

・開催にあたりご挨拶

NPO 法人がんと共に生きる会 理事長 佐藤 愛子

・ゲストスピーチ 『がん対策の黎明期におけるかわり』

島根県議会がん対策推進議員連盟会長 佐々木 雄三 氏

元厚生労働大臣、参議院副議長 尾辻 秀久 氏

NHK チーフ・プロデューサー 小原 美和 氏

・講演 『がん患者、家族へ向けての提案』

あさひまちクリニック院長 小林 淳子 氏

～小憩～



◆第 2 部 質問会（15 時～16 時分） ※進行の都合上、時間が前後することがあります。

・登壇者/第 1 部の講師・出演者の皆さま、そして

患者の立場から

松崎 広美 氏

NPO 法人がんと共に生きる会 小林 喜美子 氏

行政の立場から

島根県健康福祉部 健康推進課 がん対策推進室室長 藤井 徹 氏

・コーディネーター/ NPO 法人がんと共に生きる会 小豆澤 伸司 氏

★ 客席の皆さまとの質疑応答、意見交換を交えながら進めてまいります。

「在宅療養について知っておきたいこと」「より良い治療を受けるには？」

「がん医療のこれからは？」などどんなことでも、皆さまの活発なご意見をお待ちしております。

◆ インフォメーション・デスク

- ・がん検診の啓発チラシや、島根の皆さまの取り組みご紹介、NPO がんと共に生きる会の活動についてなど、資料の配布コーナーをもうけます。

がんの予防・検診・治療・在宅療養・患者支援などについて、さまざまな情報をお届けします。 ぜひご利用ください。

※開演の 30 分前より、インフォメーション・デスクの展示、VTR の放映を行っております。

出演者プロフィール・メッセージ



講演

あさひまちクリニック院長 小林 淳子氏

●プロフィール

昭和 61 年 3 月 鳥取大学医学部卒業
同 4 月 鳥取大学医学部附属病院研修医
その後、鳥取赤十字病院、
鳥取大学医学部附属病院、
国立米子病院、松江記念病院などで勤務
平成 12 年 10 月 松江市立病院消化器内科副部長
平成 18 年 11 月 あさひまち内科クリニック開業
平成 21 年 4 月 あさひまちクリニック開設



●資格

日本内科学会認定医、日本消化器病学会消化器病専門医、日本消化器内視鏡学会専門医
日本肝臓学会肝臓専門医

●メッセージ

がんと共に生きる会の立ち上げ、がん対策基本法の制定などを経て、がん診療の標準化も少しずつ進み、がん診療の形も変化してきています。よりよい医療を受けるためには患者さん自身が過不足ない情報を得ること、患者会やサロン、ピアサポート制度などを利用し精神面での支えや仲間を持つこと、そして何より主治医、医療者と信頼で結ばれた良好なパートナーシップを築き、治療や自身の生き方を能動的に選択することだと思います。

また、がん診療のすそ野をひろげるために私達一人一人の役割も重要と考えます。



患者の立場から

NPO 法人 がんと共に生きる会 小林 貴美子氏 ●プロフィール

H15 年 8 月に卵巣がん、9 月に大腸がんを 54 才で、17 年 9 月には乳がんを発症と、多重がんを経験する。H18 年 7 月より島根大学内「ほっとサロン」のお世話役、20 年 3 月より雲南保健所内「陽だまり」の代表、今年 4 月からは雲南市立病院内「ふれ愛」のお世話役として、がんサロンとの関わりを続けている。島根県検診啓発サポーター、雲南市難病ボランティア、笑塾 笑コミュニケーションも務める。

松崎 広美氏 ●プロフィール

S30 年 9 月 23 日生まれの 56 才。25 才より印刷業に従事。H14 年 12 月、勤務先が倒産し、翌 15 年より自営業として印刷業を起こす。H19 年 7 月に肺がんが発見され、100 日間の入院で放射線、抗がん剤治療を経て手術し、左肺 2 分の 1 を取り除く。その後、抗がん剤による予防治療を進められるも断り、現在に至る。



ゲスト

元厚生労働大臣、現参議院副議長 尾辻 秀久氏

●所属委員会及び現役職

参議院副議長（H22 9月～）日本遺族会会長（H24 9月～）
参議院法務委員会委員

- 詳しいプロフィール・この公開講座に頂戴したメッセージは、別添資料をご覧ください。



島根県議会がん対策推進議員連盟会長 佐々木 雄三氏

●メッセージ

当時全国がんと共に生きる会会長 佐藤 均さんの熱い想いを聞き、平成 15 年より国・県に対しがん対策の充実に向けての行動を共にしました。全国初のがん対策推進条例の制定、がん対策募金の取り組み等、佐藤均さんや三成一琅さんの遺志を継ぎ、議会の立場で行動しています。

平成 17 年、NHK大阪城ホールで開催された「第 1 回がん患者大集会」は大感動でした。佐藤均さんのふりしぼって話す一声一声が今日の日本のがん医療の発展の礎となったと思っています。今後とも、患者・家族の皆様が“がん”と向き合って、がん医療の充実の為に総力をあげねばと思っています。



NHKチーフ・プロデューサー 小原 美和氏

●プロフィール

1995 年より「クローズアップ現代」等の情報番組にて、がん医療の現状についてリポート。2004 年からは、患者や家族の立場から日本のがん医療を考える「がんサポートキャンペーン」や、NHKスペシャル「日本のがん医療を問う」のシリーズを担当。

●メッセージ

故・佐藤均会長を初め患者会の皆様との出会いは私にとって財産であり、日本のがん医療の改革に向けた原動力になりました。今も心から感謝しております。



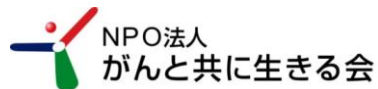
質問会コーディネーター

NPO 法人 がんと共に生きる会 小豆澤 伸司氏 ●メッセージ

「患者、家族の持つ療養体験、医療、行政など、それぞれが持つ能力、こうした「経験知」を活かして展開してきた島根のがん対策、その源流は佐藤均さんや三成一琅さんをはじめとする先人の、命を削る闘いにあったと確信します。そして、実際になんと向き合っている患者・家族の皆さんにとって大切なことはなにか？在宅医療の向上に先陣をきって取り組んでいる医師による長年の経験を通したお話をぜひ参考にしてください。



NPO 法人がんと共に生きる会 理事長 佐藤 愛子



当会は、がん患者とその家族そして遺族が、がん対策に向けて活動している団体です。

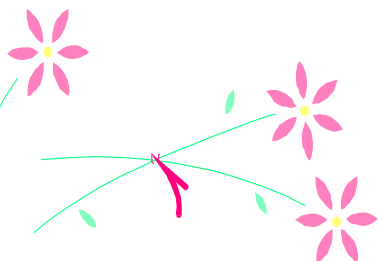
がん患者の主人を亡くして遺族となった私には、『ガントモ』の存在が一番の支えになりました。沢山の勇気をいただけて、今では私の生きていく上で大きな力となっています。

地元で少しでもがん医療向上のお手伝いができれば、きっとあの人も安心してくれるのでは、と思いながら、皆さんと一緒に活動しております。

全国組織のNPOであるがん共では、東京、大阪、広島、高知などの会員がさまざまな形で情報提供や患者支援、政策提言の活動に取り組んでいます。島根での活動は、主に『島根がん情報サロンちょっと寄ってみません家』など各地の“がんサロン”で患者さんやご家族の触れ合いのお手伝いをしています。また検診啓発サポーターとして、イベント等で検診用パンフレットを配布したり、体験談をお話ししたりして、県民に早期発見の大切さを伝えています。

今回の公開講座は、そのような島根や全国のガントモの活動を皆様にごっていただける、とても良い機会となりました。この場をお借りして、開催までにご協力を賜りました方々、出演者の皆様には、厚く御礼を申し上げます。

「患者ひとりひとりが声を合わせれば、がん対策を進める大きなうねりとなる」。がん共の思いであるこの言葉を、これからも継ぎ、繋いで行きたいと思っております。



こんにちは。
がんと共に生きる会です。

●ガントモとは？

1999年に任意団体“癌と共に生きる会”として誕生。再発・進行がんの患者さんが「元気な日を一日でも長く」送ることができるように、「愛する人に同じ思いをさせないために」をスローガンに、議員会館への陳情、医師との対話、マスコミへの露出等提言活動を行ってきました。

2007年にがん対策基本法が施行されてからは、がん患者の療養の環境は少しずつ改善されてきましたが、受けられるがんの医療が地域や施設によって違うこと、ほしい情報がなかなか手に入らないこと、抗がん剤のドラッグラグなど、まだたくさん問題があります。

そういった問題が早期に解決されるよう、会員内で情報を共有し、地域のがん対策の協議会や厚生労働省の会議の場に委員として会員が参加し、奮闘しています。2009年11月に“特定非営利活動法人がんと共に生きる会”となってからは、それぞれの会員が居住する地域で、地域に根ざした活動にも力を入れ、がんについての普及啓発（公開講座）や、患者・家族支援（座談会）を行っています。一例として、「島根がん情報サロンちょっと寄ってみません家」代表、大阪がんええナビ制作委員会代表委員も当会の会員がつとめています。

事務局/530-0031 大阪市北区菅栄町 1-20 浜田理科ビル 501

TEL・FAX/06-6354-3473 メール/info@cancer-jp.com

ホームページ/<http://www.cancer-jp.com/>

